



日本共産党文京区議会議員  
**まんぢ幹夫** 週刊 通信  
 2011年1月14日号 No.176

# 'みなさんをいつもまんぢに、

区議団控室：5803-1317 (直通)  
 萬立幹夫事務所：文京区小石川2-23-7  
 ・fax 3868-8355  
 メール：mandachi@jcp-bunkyojugidan.gr.jp

《このニュースは区議団ホームページ <http://www.jcp-bunkyojugidan.gr.jp/>でもご覧いただけます》



「親の介護が必要になった。すべてヘルパーさんに頼んだら月に数十万円かかるので、しかたなく仕事を辞めた。失業して大変さが身をもってわかった」とか、またある方は、「80歳すぎて妻の介護をするこ  
 とになった。こんな大変なことはない」と、介護問題  
 は切実です。

元旦の伝通院(右)と小石川七福神めぐりで源覚寺の前で、だれか探して...?



二〇一一年 新しい年を迎えました。今年もよろしくお願いいたします。  
**「愚痴を聞いてもらって、ごめんなさい」…多くの方々からくらし、営業の大変さと、政治を変える期待が聞こえてきます。**



## 2011年 ホットなうれしい、考えさせられる...

今年も箱根駅伝で年明けです。総合優勝こそ逃したものの、母校・東洋大学が往路優勝！柏原選手の快走がまた光りました。

昨年暮れからの「伊達直人」なる人物のランドセルのプレゼントには心温まります。私の小学校時代のヒーローであるタイガーマスク。まさかこんな形で思いだすとは。しかし逆に考えると、国や行政の支援の薄さも見えてきます。

10日は成人式。私の長男も新成人でした。彼の韓国籍の友人のK君は今韓国の大学で学んでいます。「おめでとう」と声をかけると、「3月から陸軍に入隊です」...唖然としました。「気をつけて」「死なないように頑張ります」 次のことばが出ませんでした。

さらには、中小零細企業の営業や商売の不安です。暮れにうかがった製本業者さんは「去年より今年はさらに仕事がなくなつた」といいます。ある工務店さんは「官公需をつけても、実入り」がない。実績が残るだけ」と言い切ります。区の発注する仕事を区内業者に回すこと、しかも適正な人件費が確保される価格を保障することが求められます。



街頭で

1日 新年。午前0時、家族と妻の妹の家族と伝通院、沢蔵司、源覚寺をまわりました。  
 3日 区内一巡の新春宣伝。私はオンラインピック前で訴えました(上の写真)。正月らしさが感じられないのは不況のせいでしょう。でも温かい声援をいただきました。  
 5〜8日 5日・区の年賀会、7日は区労協、8日は文京土建の新年会に出席。昼間は地域のみなさんへピラを届けご要望などお聞きしました。

**2011年  
 新春のつどい  
 2月6日(日)  
 開催します**

◆場所 白山東会館  
 ◆参加費 1,000円

まんぢ幹夫日誌